

2 (月)

まず第一に礼拝

創世記八章

ノアは主のために祭壇を築いた。そしてすべての清い家畜と清い鳥の中から選んで、焼き尽くすいけにえとして祭壇の上に献げた。(20)

箱船を降りたノアが真っ先にしたこと、それは主なる神を礼拝することでした。これまで神の命令に従って行動してきたノアでしたが、このときは自発的な礼拝をささげました。新しい出発にあたり、ノアは神を礼拝することから始めたかったのです。世界が滅ぼされることに至ったのは、神を礼拝することを忘れてしまったからにほかなりません。神を礼拝することをやめるとき、人は自らを神としてしまいます。これこそ罪の根源です。人が神に成り上がろうとするのをとどめる唯一の方法は、真の神を神として礼拝することです。人類の再出発にあたり、礼拝者として生きることこそ、人間が健やかに生きていく道であることを示したのです。この一年も、神を神とし、その御前にひれ伏す真実な礼拝を大切にする私たちでありたいと願います。そこに大いなる祝福があるからです。